

# サイエンス・ブックレビュー

## 科学技術は倫理を語りうるか

猪野修治

栗木安延『アメリカ自動車産業の労使関係』／マーティン・ハーウィット『拒絶された原爆展』／嶋橋美智子『息子はなぜ白血病で死んだのか』／袖井林二郎『私たちは敵だったのか』／坂本義和編『核と人間』／柳田邦男『犠牲』／小松美彦『対論 人は死んではならない』／廣重徹『科学の社会史』／野田正彰『させられる教育』／ポーエン・C・ティーズ『占領軍の科学技術基礎づくり』／里深文彦『人間的な産業の復活』／戸田清『環境学と平和学』／ピーター・ウイリアムズ／デヴィッド・ウォーレス／『七三一部隊の生物兵器とアメリカ』／西里扶甬子『生物戦部隊 731』／常石敬一『化学兵器犯罪』／小松美彦『脳死・臓器移植の本当の話』／斉藤三夫『物理学史と原子爆弾』／豊崎博光『マーシャル諸島 核の世紀』／常石敬一『謀略のクロスロード』／佐々木力『科学論入門』／佐々木力『学問論』／佐々木力『マルクス主義科学論』／米本昌平『知政学のすすめ』／山田秀二郎『ヒトはどこへ行くのか？』／渡邊悦生・中村和夫共編『科学を学ぶ者の倫理』／山本義隆『磁力と重力の発見』／佐々木力『デカルトの数学思想』／山田大陸『心にしみる天才の逸話 20』／『天才科学者の不思議なひらめき』／加納誠監修／田井正博『時間の不思議』／山本義隆『一六世紀文化革命』／パトリック・ゲテス『インド科学の父 ポース』／木田元『わたしの哲学入門』／小柴昌俊『物理屋になりたかったんだよ』／田中登編『小松茂美 人と学問』／デーヴァ・ソベル『ガリレオの娘 科学と信仰と愛についての父への手紙』／ニコラ・テスラ『テスラ自伝』／松本哉『寺田寅彦は忘れた頃にやって来る』／田中耕一『生涯最高の失敗』／吉川惣司・矢島道子『メアリー・アニングの冒険』／和田耕作『石原純』／唐木田健一『1968年には何があったのか』／帯金充利『天上の歌』＊高瀬正仁『評伝 岡潔』／池内了『寺田寅彦と現代』／金子務『オルデンバーグ』／W・シーア／M・アルティガス『ローマのガリレオ』／カール・ベンツ『自動車と私』／小倉金之助『われ科学者たるを恥ず』／増田美香子編『町人学者 産学連携の祖』／岡部進『生活文化と数学』／高瀬正仁『岡潔』／ブレンダ・マドックス『ダークレディと呼ばれて』